

よもぎた

内容

- 特集『騒音・振動』……………2~3
- 村民体育祭から……………4~5
- 民生課から……………6
- ひとこと・村長から/民生課から……………7
- 教育委員会から……………8~9
- 各課から……………10
- 談話室/行事予定……………11
- けっぱる蓬田人/戸籍の窓口……………12



夏の夜は、暑さを忘れて盆踊り

をさなごの

ひとさしゆびにかかる虹
草城

今年の夏は、記録的に暑い日が続いている。

しかも、雨が殆ど降らない。このため、田畑は水不足を来している。

この天候異変は、わが県だけでなく、どうも全国的に起きているようだ。

関東地方はスコールのような雨が多くなり、北海道には梅雨があつたと聞く。

八月十八日(金)、村商工会と村観光協会主催の盆踊り大会が開催された。

仮装の踊り子が、輪の中にいる。どこの誰やら。

最後に十八発の花火が打ち上げられ、夜空に極彩色大輪の花が咲いた。

つかの間に消え行く、この夏の花は、何故か人の心を魅了し続ける。

9

月

1989

だって大きくて長〜い!



騒

音

村民が今・苦しみ・怒る津軽海峡線
騒音・振動特集

開業から一年半、津軽海峡線騒音・振動は今!

津軽海峡線は

つがる怪響線?

津軽海峡線が開通したのは、昭和六十三年三月十三日。早いもので、もう、一年半が過ぎようとしている。

村民は、開業早々から津軽海峡線が発する騒音と振動に頭を悩ませてきた。

ある村民は、夜も眠れず住居移転も真剣に考えていると言う。

何しろ、最大総重量五十五トンにも及ぶ貨物列車が二十数両編成で、夜昼かまわず耳をつんざくような音をたて、地震のような振動を残して猛スピードで駆け抜けるのだから、苦しみはそこに住んでいる人にしか分らない。

しかし、海峡線は我々の悩みをよそに営業成績を伸ばしているようだ。

その分、騒音振動対策に予算を回してもらいたいと思う



高く、二重にすればもっと効果が?

対策の現状と課題

防音壁の効果は?

それでは、対策の実態を見てみよう。

瀬辺地地区には防音壁が設置された。

線路東側に高さ二・五メートル、長さ六十六メートルの壁が設けられている。

のは欲と言うものだろうか。

八戸村長は、開業時からこれら公害解消のためねばり強く陳情を続けている。

その成果は、防音壁設置や

数箇所のレール溶接、鉄橋への特種ゴム張り付け等の形になって現れている。

その効果はどうだろうか。

防音壁のすぐ近くの人に聞いてみると「音は小さくなつたよ」と言う人と「大して変わらないねえ」と言う人がいる。中には「テレビの電波障害も減った」と言う人もいるから、幾分かの効果はあったのだろう。

それにしても、長さがたったの七十メートル弱。素人目にも防音壁が必要と思われる箇所は二キロメートルにも及ぶのだから、まだまだ足りない。

ロング・レール化は進む

線路の溶接(ロング・レール化)も進んでいる。

蓬田駅構内に作業所を設け、中沢駅蓬田駅間は既に終了し、徐々に蟹田方向に工事が行われている。

ロング・レールになれば、どうなるのだろうか。

レールの継ぎ目に車輪がぶつかって出るガタンゴトンと



溶接済みのレールが出番を待つ

いう音が無くなり、今度はゴウゴウと列車が走り抜けていくのだろう。

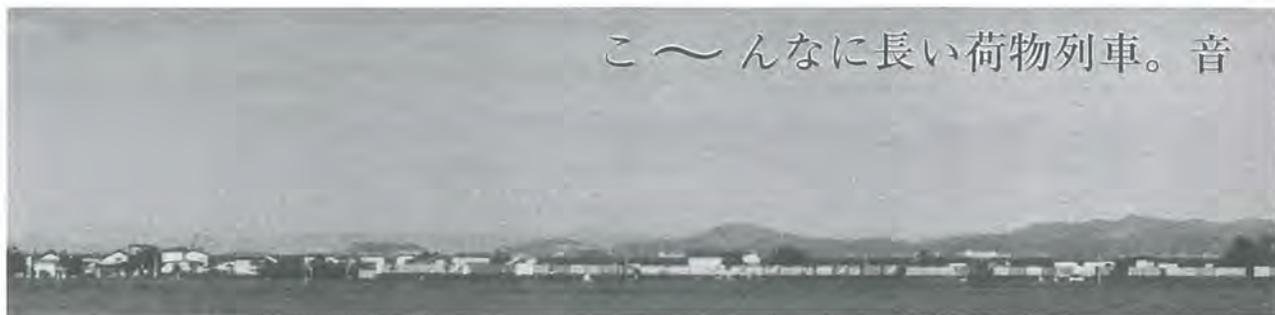
しかし、いわゆるポイントが構造上ガタンゴトンが無くなるわけではない。画期的な技術開発がなされない限り、悩みは永遠に続く。

ゴム張り鉄橋出現

次に取られている対策は、鉄橋対策である。

一見しても分らないが、何箇所かの鉄橋には橋げたの内側に特殊なゴムを取り付けて音を吸収しようとしている。しかし「前より静かになっ

こ～んなに長い荷物列車。音



たけど、それでも音は大きい」と、近くの人々は言う。

ディーゼルカーは静かなのに、今まで見てきたように、JRでは少しづつ対策を講じてきている。

しかし、対策はまだまだ必要なようだ。

ちなみに、従来どおりのんびり走っているディーゼルカーの振動・騒音と、長い長い海峡線の貨物列車のそれを比較してみると、その差は測定機器なんか無くてもハッキリ分る。

開業前に、大きく重量のある線路に取り替えているため、従来のディーゼルカー(各客車)の振動・騒音は相当小さく、あまり気にならないのに対し、貨物列車は大変な騒音・振動を長時間出す。

防雪柵は、あんなに立てたのにここで、少し視点を変えてみよう。

コラ・コラ・ゴー・ゴー
昼も夜も・いつだって・
騒音・振動・騒音・振動
これから、どうなるの？

雪は列車運行にとって大敵であるから、これに対するJRの対策は素晴らしい。やたらに丈夫な防雪柵を驚くほどあちこちに作っているのだ。吹き溜まりでもできて列車が止まったら大事に至るから

対策は、これからどうなる？

瀬戸大橋線は万全の対策

先頃、青森県庁が瀬戸大橋線の公害対応について視察したことが報道された。

それによると、向うは吸音材や制振材も使うなど、現時点で考えられる全ての対策が



この鉄輪が公害のもと

だろう。

こうなると、JRの防雪柵に対する予算と、公害対策予算の額がどうなっているのか比較してみたいと、興味を湧いて来るがどんなものだろう。

とられ、こちらより二歩も三歩も進んでいると言う。

JR東日本も、いくつかの対策を講じているが、大きく遅れているのはどういう訳だろう。

同じJRなのに、対応が違うというのは簡単に納得できるものではない。

ゆっくり走れないの？

怪響線

それにしても、海峡線の対策は騒音対策に終始しており振動対策には手が付けられていないようだ。

先の報道によると、今のところ「列車減速」が騒音・振動どちらにも最も効果がある

らしい。

せめて、現状を技術が克服できるまで「ゆっくり」走れないものだろうか。

私達がスヤスヤ眠れる日は



ディーゼルカー=騒音の元凶

まだ遠く、抜本的な対策はこれからである。

いずれにせよ、村も村民もJRがどんな対策を取っているのか注視し、要望、陳情を繰り返して行かなければならない。



ここがポイントだ



振

動

村制施行100周年記念第31回村民体育祭

長科チーム3年連続の総合優勝

小差で第2位中沢チーム、第3位瀬辺地チーム

入場行進で宮本地区区会V2

七月三十日(日)、第三十一回村民体育祭が村総合運動場を会場に、約一千人の村民を集めて開催され、綱引き優勝など各競技に高得点を重ねた長科チームが、三年連続の総合優勝に輝きました。



戦いは、早々と入場行進から始まりました。

入場行進には、昭和六十一年から交通安全協会長賞が与えられ、年々好評です。

それぞれ工夫が凝らされましたが、予想どおり「一〇〇周年おめでとう」の横断幕と一〇〇周年マークの帽子に緑のスカーフで現れた少数精鋭の宮本地区区会が、見事二年連続の賞を獲得しました。

開会式では、八戸大会長(村長)が「体力づくり、健康づくりを目的としたこの大会で、部落間の交流を深め、最後まで優勝旗をかけて頑張ってください」と挨拶し、選手代表の松本勝治(長科)さんが、半円に団旗が集まる中で元氣一杯の選手宣誓をしました。

大会種目は、百周年ということ、百にちなんだ「百貫テブさん」「百獣の王ライオン」「お百姓さん」「ここで

会ったが百年目」「百発百中」「百足」「百万馬力」「百人に聞きました」等のユニークな企画がされました。

昼前には、「現村長は、何人目の村長？」などの村を題材にしたクイズもありました。また、昨年から新しくプログラムに加えられた男女砲丸投げの他に、更に走り幅跳びも加わり一層大会を盛り上げました。

真夏日ながら、時折会場南側に飾られた六十二枚の大漁旗をそよがす心地よいヤマセが吹き抜け、けが人もなく午後三時半過ぎ祭は無事終了しました。



◆今年の主な成績

▼総合の部

- 一位 長科(七十一點)
- 二位 中沢(七十點)
- 三位 瀬辺地(六十九點)

▼入場行進の部

- 一位 宮本
- 二位 長科
- 三位 中沢

▼砲丸投げの部(男子)

- 一位 小鹿 誠(長科)
- 二位 坂本 太(中沢)
- 三位 福田 幸生(郷沢)

▼砲丸投げの部(女子)

- 一位 木村 まり(宮本)
- 二位 坂本ひとみ(中沢)
- 三位 稲葉 澄子(宮本)

▼走り幅跳びの部(男子)

- 一位 佐井 皇(宮本)
- 二位 吉田 光喜(広瀬)
- 三位 福井 幸正(郷沢)
- 三位 小鹿 聡(長科)

▼走り幅跳びの部(女子)

- 一位 八戸 明香(阿弥陀川)
- 二位 高田 恵美(郷沢)
- 三位 秋元 恵(広瀬)

▼少年八百メートル徒競走(女子)

- 一位 伊子部美希子(瀬辺地)
- 二位 佐藤 由香(長科)

カメラルポ



青空の下に全員整列 //



百獣の王ライオンがかけ抜ける



気合一発、力がこもる



今回初登場の走り幅とび



十本足の百足が走る



年はとってもまだまだ



バトンを持つ手がいさましい?



応援だって、力が入るのだ



消防団リレーは、暑さをぶっとばす!



1000m競走、ヨソイ

- ▼中学生以上三千メートル徒競走(男子)
- 三位 武井美智子(蓬田)
- 一位 佐井 亮(宮本)
- 二位 八戸 俊輔(阿弥陀川)
- 三位 山館 淳(瀬辺地)
- ▼中学生以上千五百メートル徒競走(女子)
- 一位 森 明美(阿弥陀川)
- 二位 田中久美子(蓬田)
- 三位 倉谷久美子(宮本)
- ▼中学生以上三千メートル徒競走(男子)
- 一位 佐井 皇(宮本)
- 二位 中村 大八(蓬田)
- 三位 田中 信孝(広瀬)
- ▼高齢者玉入れ
- 一位 長 科
- 二位 広 瀬
- 三位 瀬 辺 地
- ▼少年綱引き
- 一位 長 科
- 二位 中 沢
- 三位 阿弥陀川
- ▼部落対抗綱引き
- 一位 長 科
- 二位 郷 沢
- 三位 中 沢
- ▼部落対抗リレー
- 一位 瀬 辺 地
- 二位 阿弥陀川
- 三位 中 沢

健康クッキング

村上江み子

長科
食生活改善推進員

●スキムミルク・ライスコロッケ

●材料(4人分)

冷やご飯3カップ／ハムのうす切り4枚／
粉チーン30g／おろし菜2本／
／サニーレタス／塩少々
／おろし菜2本／
／おろし菜2本／
／おろし菜2本／

私は、主人と二人暮らしで、娘夫婦は職業の関係で、離れて暮らしています。

日常の健康管理は、まず、食生活です。

フランスのとれた食事は一日、三十食品が目標で、塩分も一日十g以内に。

食生活が豊かになつたといわれませんが、乳製品は出来るだけ上手にとりたいものです。

特に、子供達には乳製品を使った料理に慣れていただきたいものです。

スキムミルク入りライスコロッケを作ってみました。

まず孫達に試食させたら「おいしいおいしい」の連発でした。早速、母と子の料理教室に作りました。

子供達は、ワイワイガヤガヤ大喜び、あの笑い顔が今でも目に見えます。

塩分は一日、十グラム以内。

「おいしいね」の言葉に励まされて。

成人病・太り過ぎの予防にも。

ライスコロッケには、野菜

をたっぷりと考え、にんじん、おかひじきも入れて見ました。

保健婦さんの話によれば、おかひじきは、海藻のひじき

と同じ、カルシウムを豊富に含んでいるという事です。

わが家のおかひじきは、自分で、地区にも普及しています。

孫達が遊びに来る時は、「おばあちゃん、ライスコロッケ、グラタン、スキムミルク入りカンテン」等色々注文があります。

そんな言葉に励まされ、一生懸命に作ります。

また、地区の皆さんからの「おいしいね」という言葉は、私達推進員には大きな励まし

の言葉です。

今、わが家のシチュー、カレー、天ぷらの衣、にんじん

ポタージュ、煮込み料理にはスキムミルクが入っていて、風味と味のまろやかさが自慢

です。

是非一度お試し下さい。

また、成人病や太り過ぎの心配がないので、安心して毎日の食卓に出すことができます。

昔風の焼魚、和えものが好きで、牛乳嫌いの主人も今は何でも食べるようになりました。孫達も好き嫌いなく野菜、魚を食べるようになりました。



●つくり方

私達の活動は、勉強したことをまず実践し、お隣りさん、お向かいさんへと伝達する事です。

こんなことを常に念頭に置き、皆さんと共に頑張りたいと思います。

①ハム、おかひじき、にんじんをみじん切りします。

②ボールにご飯を入れ、すりこぎか、木じゃくしで軽くつぶし、①と粉チーズ、スキムミルク、少量の塩とこしょうを加えてよく混ぜ合わせ、直径3cmのボールに形作ります。

③②に小麦粉、とき卵、パン粉の順にまぶし付け、一八〇度の熱した油で約一分、薄く色づく程度に揚げます。

④③の油にパセリを茎ごと入れて手早く揚げます。

⑤サニーレタスの上に、③のパセリを添えたライスコロッケを乗せておすすめです。

キャンプは楽しい

子ども会リーダー研修会

八月一日(火)から三日間、青森市内にある「県民の森、眺望山野営場」において、中央公民館主催の子ども会リーダー研修会が開催されました。

このリーダー研修会は、地域子ども会のリーダーを対象に、二泊三日の野外生活を通して子ども会活動におけるリーダーとしての基礎的知識、技術を取得させ、今後の子ども会活動に役立ててもらおう

と毎年開催されています。学習内容は、①リーダーとしての役割②子ども会におけるレクリエーションのとり入れ方③テントの設営と撤収のしかた④炊事のしかた⑤野外生活のあり方⑥キャンプファイヤーのもち方⑦奉仕活動⑧その他です。

二日目の講師は、青森地域広域消防事務組合蟹田分署の工藤市五郎さん、坂本忠則さん、中村周平さんの三名で救命法を講義してくれました。

また、二日目の夜は、青森県レクリエーション協会副会長の林金次郎先生が「楽しいキャンプファイヤーのもち方」を講義してくれました。

この他、「川にチャレンジ(自然体験)」というプログラムもあり、子ども達は短パン姿で川上りに挑戦。深い所を泳ぎ渡ったり、浅い所を見つけて歩き渡るなど、いつもと違った楽しい体験をしました。

参加した子ども達の感想文



を見ると、「班長になって恥ずかしい時もあったが、楽しかった」「子ども会最後の思い出になった」「家で食べるご飯と違っておいしかった」「生まれて初めてのテント生活、とても楽しかった」「もう一日泊まりたい」「川上りでは、パンツがぬれたので嫌だった」等それぞれに感じているようです。

この研修会の成果を、地域の子ども会や家庭で少しでも実践して欲しいものです。

ブルーロード

100%

津軽半島・三つの海を訪ねてみませんか?

● 9月22日(金)～24日(日)
(徳島22日 青森23日 秋田24日 奉仕活動)

● コース 小泊村～三軒村～今朝～早稲村～
一里町～蓬田村～青森

● 申し込み締切 **9月1日(金)** 土曜前日

● 申し込み先 青森市蓬田東野44の30番 青森県教育委員会
北限いむむ先 ☎0177(7)72079

奉仕の心を大切に!

玉松海水浴場で清掃活動

蓬田小学校青少年赤十字団

玉松海水浴場をきれいにしようとして、七月二十日(木)午後二時から、蓬田小学校(奈良良成校長)の四年生から六年生までの児童百七十名が清掃の奉仕活動を実施しました。作業に入る前、武田教頭から「学校では、七月八日に青少年赤十字加盟の登録式を行いました。今日は、奉仕の心を忘れず、学校の勉強とは違った勉強をして下さい。また、皆さんが使う海水浴場ですので、皆できれいにしましょう」と挨拶があり、二人一組でゴミ袋を持ちそれぞれの持ち場に散りました。

オープン前の海水浴場は、この一時間の清掃でトラック一台分のゴミが集められ、すっかりきれいになりました。これで、蓬田小学校青少年赤十字団第一歩の仕事となりました。た清掃活動も無事終了となりました。



誓いは“納得のいく答えを出して、生きます。”

Congratulations!

成人式

三十三名が胸に新たな誓い

おとなになったことを自覚し、自ら強くたくましく生き抜こうとする新成人を祝いますとともに、郷土蓬田村の構成員として相協力し、明るい豊かな住みよい村づくりを努力する村民としての出発日としてらおうと、八月十四日(月)、村中央公民館において、新成人、来賓及び関係者八十名の参加を得て、平成元年度の成人式が挙行されました。

式は午前十時から始まり、最初、奈良尹教育長から、「今日の成人式を迎えられたことは大変喜ばしいことです。今まで育てくれたお父さん、

お母さんに感謝するとともに、これからは、成人として、自分の人生に責任を持って頑張ってください」と式辞を述べられ、続いて、八戸良次郎村長と津島鉄男村議会議長から、それぞれお祝いの言葉が述べられました。

新成人代表の武井まゆみ(蓬田)さんは、「人間はいくら努力しても、「壁」が必ずやって来ます。人生の分岐点でもありますが、その人の本領を余すところなく発揮できるのは、人間が「壁」にぶち当たった時であると聞いています。その時に、ぶち壊すか、何とかして飛び越えるか、別の道を捜すか、立ち止まったままにいるか、自分のとるべき最良の道は、自分が選ぶのです。自分で納得する答えを出すのです」と新成人誓いのことばを発表しました。

この後、村長から、男性には、村の鳥オオハクチョウがデザインされたネクタイピン女性にはネックレスがそれぞれプレゼントされました。

引き続き、川崎晃一(広瀬)さんが「成人式を迎えたからすぐ変わっていかねばならな

いということではありませんが、これからは、一人の大人としての自覚と強い意志を持って、皆で助け合いながら人生を切り開いていこうではありませんか」と提言し、村民の誓いを全員で斉唱しました。記念講演は、日本板画院名

誉会員、青森大学助教授の佐藤米次郎先生が講師で、「新成人に望むもの」と題した力のこもった講演となりました。式の最後は、澤田教育委員会委員長の音頭で、ジュースを高々と掲げた乾杯となり、めでたく式を閉じました。

快拳・続々入賞!

県民体育大会で有終の美

八月十九日・二十日の二日間八戸市を主会場に、第四十四回市町村対抗青森県民体育大会が開催されました。

この大会で、わが村は、陸上競技、卓球、ボウリングの三種目に出場し、各種目とも上位入賞する健闘を見せました。

特に、森三奈子(阿弥陀川)さんは、走り幅跳び一位と、百メートル徒競走三位入賞というすばらしい成績でした。

また、男子四百メートルリレーは見事三位入賞を果たしました。おめでとうございます。

成績は次の通りです。
▽女子走り幅跳び①森三奈子
▽女子百メートル徒競走③森三奈子
▽男子四百メートルリレーD③坂本



稲葉宏
勲、越田茂弘、大川誠治、稲葉宏▽男子砲丸投げB④小鹿誠▽男子砲丸投げC④久慈修一▽男子砲丸投げA⑥佐井邦彦▽女子砲丸投げ④坂本ひとみ▽女子四百メートルリレー④田中りみ子、木村悦子、藤本郁子、森三奈子▽男子百メートル徒競走⑤

交通事故を撲滅しよう！

名古屋市の西村さん来村

「正しい交通ルールとマナーを身につけ、安全運転をしましょう」と、オートバイで

全国の市町村を回りながら一人で行った死亡事故撲滅キャンペーンを練り広げている名古屋市長緑区の西村互さんが、七月二十四日(月)、蓬田村を訪れ、坂本昭巳助役に「撲滅」と大書した色紙を手渡し、「蓬田村から交通死亡事故を無くすることを祈ります」と激励しました。

西村さんは、出身地の北海道が毎年、交通死亡事故で全国上位にランクされるのに心を痛め、全国から死亡事故がなくなるようにとの願いを込めて全国一周キャンペーンを計画しました。

昭和六十三年三月、勤めていた警備会社を退職し、四月から四〇〇ccのオートバイにまたがり、全国行脚を開始しました。

北海道の全市町村を約七カ月かけて回ったほか、これまでに愛知、香川、徳島の三県の一部を走破して、走行距離は五万*を超えたそうです。

青森県入りしたのは、七月五日で、弘前市をはじめ、既に十四市町村を回っており、予定では、九月二十日までに県内六十七市町村を回り、次の目的地の岩手県に向かうそうです。

全市町村を事故なく回れることをお祈りします。

暮らしと電気安全

断線した電線には、さわらない！

(財)東北電気保安協会

二百二十日は、立春から二百二十日目の日で二十十日の十日後の日です。

暦では、九月十一日ごろに当たり、農業では昔から厄日として恐れられております。

統計的にも、二十十日以降九月下旬ごろに台風が集中して発生し、毎年日本の各地に風水害の被害を出しております。

台風による電気設備の被害は、電力会社から一般のご家庭まで多岐にわたりますが、身近なものは、家屋浸水による電柱の倒壊や断線があります。

断線した電線には、電気が流れていることがありますので、絶対に手を触れないで下さい。

知って得する税コーナー

老人とは何歳から？

老人とは何歳から？だと思いませんか。少し古い数字ですが、総理府広報室が昭和57年に行った世論調査では、「65歳ぐらい」と答えた人がいちばん多く37.1%、次いで「70歳ぐらい」24.3%、「60歳ぐらい」22.1%となっています。

このように、老人の感じ方は人によって異なりますが、法律では、税の特典を受けるための「お年寄り」の年齢が定められています。

■年齢によって異なるお年寄りの特典

お年寄りに関する特典には、お年寄り本人が受ける特典と、お年寄りを扶養している人が受けられる特典がありますが、それぞれに「お年寄り」と定める年齢は異なります。

本人が特典を受ける場合のお年寄りは65歳以上の人を指し、その特典には「高齢者控除」「公約年金等控除」「マル優など利子非課税」があります。

高齢者控除は、65歳以上で所得金額が100万

円以下のお年寄りの場合、所得税の計算をするときに50万円を所得金額から差し引くことができるという特典です。

また、公的年金等控除では、65歳以上の人は、65歳未満の人より控除額が大きいという特典があります。

■お年寄りを扶養している人の特典

お年寄りを扶養している人が受ける特典には「老人の配偶者控除」と「老人の扶養控除」がありますが、これらの控除の対象になるお年寄りは70歳以上の人です。

配偶者控除は普通35万円ですが、配偶者が70歳以上の場合は10万円加算され、45万円が控除されます。

また、扶養控除も、扶養の対象となる人が70歳以上の場合は10万円加算され、45万円が控除されます。なお、70歳以上の父母や祖父母と同居している場合の扶養控除額は、さらに10万円を加えた55万円となります。



No.29

がんばる

坂本 淑子^{さん}
中沢

認められなく障害者年金も
らえないつらい病気で
坂本さんは、小学校六年
生の春からこの病気と闘い始
めました。
突然、体育の時間に「発作」
を起こしたのです。
この日から長い長い、病気
との闘いが始まりました。
人生に嫌気がさして、何回
も自殺を企てました。
こんな坂本さんを変えたの
は、(社)日本てんかん協会
が発行している「波」とい
う小冊子でした。
同じ悩みを持つ大勢の仲間
がいることを知りました。
そして、数少ない患者本人
の会員となり、仲間と活動を
続け、昨年、青森県支部を発
足させ、世話役をしています。
今、坂本さんは県内に一万
人以上と推定される患者の本
人の会をつくることと、普通
の障害者として受け入れてく
れるよう国・県に働きかけて
行くことに燃えています。
これから十一月まで、署名
運動のため村内を歩く計画で
ですので、どうぞ皆さんご協力
をお願いします。
クロス・ステッチという刺
繡を始め、隠すことをやめ、
明るく生きていくことに決め
た坂本さんは今日も頑張る。

「てんかん」に負けない!
今回は、不治の病である
「てんかん」を持病に持ちな
がら、笑顔で頑張り続ける中
沢の坂本淑子(よしこ)さん
取材しました。
「てんかん」という病気は

原因不明で、現代医学でも治
すことが出来なく、薬は症状
を抑えるに過ぎません。
「てんかん」の人は突然発
作を起こすため、働きたくて
も雇用の場がありません。
しかも、身体障害者として



談話室

○ 9 月行事予定							
22	13	12	10	7	6	3	日
上磯地区消防団移動教養 (蓬田中学校)	献血(役場前)	母親教室(中央公民館)	村民一日登山(平館丸屋形岳)	秋の大掃除検査(郷沢、高根)	秋の大掃除検査(中沢、宮本)	運動会	行
蓬田村消防団	民生課	民生課	中央公民館	民生課	民生課	蓬田保育所	事 担 当



蓬田幼稚園入口に高さ1メートル、
長さ18メートル(国道寄り)のコン
クリート塀ができましたが、現在
その塀に、蓬田中学校の木立啓司先
生が絵を書いています。

学校で美術と技術を教えている木
立先生ですが、絵は最も得意とする
ところ。

作業は、夏休み中に終わる予定に
なっており、出来上がりが今からとて
も楽しみです。

(広報が、皆さんの家庭に届く頃
には、完成していると思います。)

けっばる蓬田人 ⑫

けっばる蓬田人

相模鉄道株

バス運転士指導員

越田忠勝さん



故郷蓬田村を離れてはや二十六年。

「田舎者が都会に出てどうする」と言った母の言葉を、振り切ったの上京でした。その母が他界して十四年が経とうとしています。本当に月日の経つのは早いものです。

近頃では、身内の結婚式等で帰省する機会も増え、その際には津軽線を利用致します。窓から望む懐かしい風景、懐かしい津軽弁が私の心を安堵させてくれます。

玉松台の眼下で生まれ育った少年時代の私は、あらゆる自然と遊び、自然に鍛えられました。

神奈川県に移り住み、海、山、川の何処へ行くにも時間がかかり不便です。その上破壊されつつある自然。蓬田村のあの自然は大変貴重だと思います。

子供達には、そういった田舎の良い所を話しています。その子供達も、高校・中学と育ち盛り。

私は交通関係の会社に勤め、バス運転士の指導教育をしております。しかし、言葉の壁は厚いもので、入社当初は津軽弁をなかなか理解してもらえず艱難致しました。

今では、津軽弁とじよっぱり自分の個性として持ち続けたいと思っています。また、趣味での津軽民謡など、故郷を離れてはいても心は津軽をいつも愛してやまな

い私。青森県人会を作り、役員として色々な行事に参加し活動しております。

最後になりましたが、蓬田村の益々の御発展と、村民の



メモ

▶現住所/神奈川県綾瀬市深谷4044
☎0467-78-3907▶生年月日/昭和19年3月15日▶出身/瀬辺地▶家族構成/妻(信子)・長女(昴子)・次女(陽子)▶好きなもの/民謡・釣り・ハイキング・囲碁・野球▶経歴/NKK川崎(昭和42年~昭和43年)・相模鉄道(株)昭和43年~現在に至る

皆様方の御活躍を期待しております。

戸籍の窓



人口と世帯数
(7月31日現在)

総人口 4,214人
男 2,033人
女 2,181人
世帯数 1,043世帯

7月受付分

お誕生おめでとうございます

八戸有佳李	(茂武)	長女
	(真紀子)	
古村 正	(晴美)	長男
	(由美子)	
福田 恭平	(幸生子)	3男
	(幸弘子)	
柿崎 翔平	(敏秀)	長男

ご結婚おめでとうございます

(千坂)	葉本	正信	秋子	田科
(長工)	内藤	一美	男保	市科
(柿小)	崎野	寿若	雄子	瀬崎
(小櫻)	松庭	則功	雄美	田浦

おくやみ申し上げます

秋田 貴宏(瀬辺地 4歳)
八幡 春夫(高根 38歳)
林崎 武三(高根 56歳)